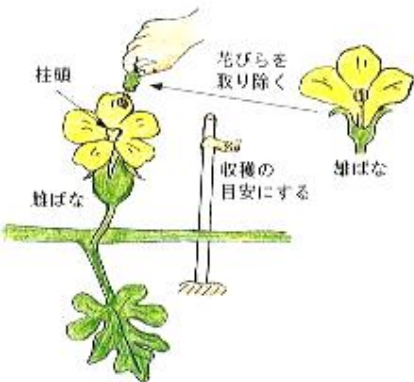


7月～8月上旬の農作業

梅雨明け後は、ハダニなどの害虫が増加します。畑をよく観察して適期防除を行いましょう！

種まき	定植	栽培のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・ホウレンソウ ・コマツナ ・ダイコン ・カブ ・ニンジン 	<ul style="list-style-type: none"> ・チンゲンサイ ・キュウリ (抑制栽培) ・ブロッコリー 	<p>【スイカの人工授粉・収穫】 スイカは人工授粉を行うと確実な着果が期待できます。各つるの15～20節目につく雌花の柱頭に雄花の花粉を擦りつけます。</p> 
<p>など</p>	<p>など</p>	
<p>※高温・乾燥により発芽が悪くなることがありますので、発芽までの遮光、播種前の芽出し処理など、作業を工夫してみましよう。</p>	<p>収穫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホウレンソウ ・青シソ ・スイートコーン ・ピーマン ・キュウリ ・トマト ・ユウガオ ・ハレイショ <p>など多数</p>	<p><注意点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・雌花はガクのすぐ下に膨らみ（子房）があるので見分けがつかず。 ・各つるに対して1果が適当なので、6～7節目につく雌花は摘除します（品質が悪くなるためです）。 ・花粉の寿命は短いため、雄花と雌花が同時に開花した日を見計らって、その日の早朝に人工授粉を行います。 ・大玉は交配後45～50日後に、小玉は35～40日後に収穫となります。交配日をメモしておきましょう。

春先～初夏の頃にかけて、コマツナ、野沢菜、ダイコンなどの葉に、図1のような小さな穴が点々とあいている様を見ることがありませんか？これはキスジノミハムシ（図2）による被害痕です。非常に小さく見つけにくいですが、アブラナ科作物を好んで春先から集団で加害するため、商品価値が低下します。アブラナ科野菜の連作を避け、下表を参考に薬剤を選択し予防防除に努めましよう。



図1 コマツナの被害

表. キスジノミハムシに対する主な薬剤の使用基準

薬剤名	作物名	使用量・希釈倍数	使用方法	使用時期	使用回数
フォース粒剤	だいこん	4kg/10a	播溝土壌混和	は種時	1回
	非結球あぶらな科葉菜類		全面土壌混和		
	なばな類				
プリンスフロアブル	はくさい	2000倍	散布	収穫21日前	2回以内

※H29年6月14日現在の登録内容(JPPネットより)



図2 キスジノミハムシ

刈払機の使い方（基本）

畑、田んぼの畔草などが生い茂り、頻繁に「刈払機」が登場する季節になりました。そこで今回は、刈払機をより効率的に使うため、使用方法の基本をおさらいしておきたいと思います。いつもの使い方を、今一度見直してみましょう！

- 1 刈払機を自然に持ったとき、刈刃が地面から数cmの高さになるよう、肩掛けバンドやハンドルの位置を調整します（数cm程度の高さが一番疲れにくいです）。
- 2 作業は、直線的に進み、常に右から左へ体を動かし刈刃の先端1/4の左側で刈ります（右図）。刈り終わったら再びもとの場所に戻り、刈り倒した草の上に更に刈り倒していくように“右から左へ”の作業を繰り返します（きれいに草を刈ることができます）。
- 3 作業中は、常に右足を左足より前に出して進んでいきます。右足で踏ん張って刈っていきます。



農作業安全チェック！ ～ 刈払機作業 ～

農業機械のうちで「刈払機による事故」が最も多く発生しています。

主な原因は、①不安定な姿勢（斜面などでの作業）、②キックバックなど回転刃が障害物に直接触れること、③小石などの飛散物、④不安全な行動（エンジンを停止せずに絡みついた草を除去するなど）、⑤近くにいた人を切る などです。

特に、③、④については“人の問題”です。詰まった草を除去するのに、いちいちエンジンを切ったり刈払機を肩から降ろすのは面倒だと、無理な姿勢で手を伸ばし反対の手がスロットルに触れて指を切断したり、フェイスガードなどの防護をせず、飛散した小石によって失明するなどの事故が非常に多く発生しています。

ちょっとした気の緩みから、人生を左右してしまう大きな不幸を招くことがあるのです。忙しい中でも、機械の取り扱いには軽く見ず、気を引き締めましょう。 [図 農林水産省資料より]



草ムラに潜んだ危険を事前にチェック！（溝、穴、切り株、番線の有無など）



詰まった草を除去する際は、エンジンを必ず切る！



複数での作業はリーダーを決め、その指示に従い、お互いの距離を確実に保つ！

あさつゆ連絡

電話番号：0268-41-1062

FAX：0268-41-1063

技術事項作成協力

上田農業改良普及センター（木曾）

電話番号：0268-25-7156（直通） FAX：0268-23-2161

今年で3年目、埼玉県スーパーヤオコーへの取り組みについて連合青果佐久支社の吉崎さんよりコメントを頂きました。

「埼玉県のスーパー ヤオコーへ3年目の取り組み」

ヤオコーとは？

今年で3年目の取り組みとなるヤオコーとはどのようなスーパーなのでしょうか？本社は埼玉県川越市にありますが、もともとは伝統工芸の和紙で知られ武蔵の小京都と呼ばれている埼玉県小川町で明治23年に創業された八百幸から始まっています。人口3万人程の町ですが古くから起業家精神が盛んな土地と知られ日本スーパーマーケット協会会長を務め7都県154店舗のヤオコーの他にも衣料品で業界2位のしまむらも同じ町の島村呉服店から始まっています。

ヤオコーは『豊かで楽しい食生活提案型スーパーマーケット』を目指しており3つの方針を掲げております。①楽しい食卓。楽しい買い物 ②地域のコミュニティーの場 ③鮮度こそ、おいしさ です。

購買環境の変化

あさつゆには休日ともなると遠方からも大勢のお客様が来店されていますが、遠方特に首都圏の高齢者が平成17年の760万人から27年には1,078万人に増加しております。一方休日に1回も家から出ない人は平成22年に全国で28%でしたが27年には40%と急増しています。この2点から考えても将来的には地方まで足を運んでくださる観光客は減少することが予想されます。

お土産から日常の食卓へ

今まで足を運んで下さったお客様がなかなか観光で足を運ぶことが難しくなった時、こんな時代にこそ出荷して下さる組合員が多く、すでに首都圏への進出の手段を持っているあさつゆの強さが発揮されると考えられます。

- ① **こちらからお届け！** 足を運べない首都圏のお客様へ低コストでこちらから農産物をお届けするルート を確立できている。宅配便なら1,400円程度のところが50円で埼玉まで輸送
- ② **楽しい買い物には選べる楽しさが必要。** 通常農協出荷は規格に合わせて箱詰めしますが、大きいもの小さいもの、曲がったもの、沢山入っているもの、少量のものなど、また出荷期間が短いものも選べるからこそ買い物は楽しいのです。
- ③ **農産物がコミュニケーション？** 作った人が分かる。食べ方の提案がある。店頭販売では地域の話 題が！食べ物のこと、美味しかった記憶を話す時、人は笑顔になります。あさつゆの農産物には身体を健康にし、話題を提供し、人を笑顔にする力があります。
- ④ **鮮度こそ、おいしさ！** 通常お店で袋物を販売する為には一旦パッケージ専門の会社に袋詰めを外注するか、お店で前日を作っておくか、品物が届いてからお店で袋詰めして昼頃から販売するしかありません。あさつゆの品物は組合員の皆様が丁寧に袋詰めにした状態での出荷ですから、鮮度の良い状態で朝一番からお店に並べることができます。

この様に見てくるとヤオコーの方針とあさつゆの得意とするところが一致していることが数多くあることがわかります。近い将来に迫ってくる様々な課題に向かって組合員の皆様、あさつゆ、市場、ヤオコーが一体となって取り組みが進められれば大きな力になると考えております。